

東淀川区支部活動報告

東淀川区支部 人権フィールドワーク 参加者9名

令和2年1月17日(金) 14:00～16:30 堺市立人権ふれあいセンターにおいて学芸員及び担当者の説明・案内で「人権活動の在り方等について」学びました。

【活動概要】

人権ふれあいセンター内での館内フィールドワークでは」と人権ふれあいセンター周辺の館外フィールドワークの2本立て



【活動内容】

➤館内フィールドワークでは、2019年企画展として「江戸時代の絵図と塩穴村」が開催中で、当日は学芸員による説明の日にあたり、国絵図を中心に展示され、かわた村が記載された意義について考えさせられ、今なお根強く残る部落差別を解決するため、私たちはどのようにすればよいのかを考える機会となりました。

➤その後は王将 阪田三吉の生い立ちから名人、王将になるまでのお話を担当の方から情感を込めて詳しくお聞きすることが出来ました。また、塩穴村の成り立ちから水平社活動、生活環境等々について学ぶことができた。

➤館外フィールドワークでは、王将 阪田三吉の顕彰碑、協和湯跡、福德延命地藏尊、家原文珠道石碑などを見学し、人権についての理解をより深めることができました。

